

4月から品質保証室に勤務している。

同社は、科学技術振興機構や岡山大学などが開発に成功した新しい歯科用人工骨の実用化などに取り組むベンチャー企業。2021年の歯科用人工骨実用化を目指しており、高度医療機器を扱うため必要な第1種製造販売業許可取得に向けた書類の作成、申請業務に対応できる実務3年以上の経験者を求めている。

原田氏は岡山市出身で、大阪や京都で医薬品の研究開発や化粧品製造の品質管理業務などに携わってきた。高齢になった親元で生活するためUターンを希望し、昨年10月に地元人材サービス会社に登録していた。

県下に医療機器メーカーが少ない中で医療機器経験者の求職者は希少で、同社の松尾健哉社長は「欲しかった人材が3カ月足らずで見つかったのは予想外。地方の中小企業ではみつけられなかった」と感謝しきり。将来的には、新規事業に欠かせない第1種医療機器製造販売の安全管理責任者として活躍を期待している。



同拠点のマッチングで、オカツウエレクトロニクス(株) (岡山市北区今5-5-2、乾伸一社長、資本金9000万円) も3月28日付で、内部管理体制の改善を目的にプロ人材と雇用契約を結び、4月から勤務している。

新分野進出へ人材確保

メディカルクラフトン



原田礼忠氏

ダイヤ工業(株)子会社で、医療機器開発を手掛けるメディカルクラフトンは、3月4日付で原田礼忠氏(40)を採用した。